

警察本部総務部長

鈴木 孝彦 警視長



昭和58年4月 採用
昭和63年4月 任 巡査部長
平成5年3月 任 警部補
署 刑事第一課係長
平成7年3月 本部 警務課係長
平成10年3月 任 警部
署 刑事課長
平成13年4月 警察庁 出向
平成16年4月 本部 警務課 課長補佐
平成18年3月 署 刑事第二課長
平成20年3月 任 警視
署 刑事官
平成24年3月 本部 監察課 上席監察官
平成25年3月 捜査第三課長
平成26年3月 大和警察署長
平成28年3月 刑事部 参事官
平成30年3月 仙台南警察署長
平成31年3月 任 警視正
首席監察官
令和2年3月 交通部長
令和4年3月 仙台中央警察署長
令和6年3月 任 警視長
総務部長

・警察官を目指した理由

白バイ隊員になって暴走族の取締りをしたいと思ったからです。

・主な経歴と現在の担当業務

交番で3年間勤務した後、強盗や窃盗等を担当する刑事第一課や詐欺等を担当する刑事第二課を中心に捜査員として勤務しました。巡査部長当時、仙台空港の国際定期便運航開始に合わせて警視庁（国際捜査課）に出向したほか、警部時代に警察庁（人事課監察）に出向し、貴重な経験をする事ができました。

警視昇任後は、警察本部の捜査部門や管理部門の所属長のほか、警察署長（大和警察署長、仙台南警察署長、仙台中央警察署長）などを経て、令和6年3月から総務部長として勤務しています。

・これまでの警察人生を振り返った感想

今年で勤続42年目になりますが、思い出として頭に浮かぶのは大変だった時のことです。

特に、警部当時、平成の市町村大合併の時期に組織管理に関する業務を担当していましたが、長期間にわたる深夜勤務で係全員がへろへろになりながらも「警察署再編整備計画」（県警察史上初となる大規模かつ長期的スパンによる警察署等の統合・新設計画）を策定したことがありました。

その後、同計画に基づく事業（仙台南警察署の分割による若林警察署の新設）において、分割前最後の仙台南警察署長として、「若林警察署」の開署に向けた準備に携わることができましたし、退職前の令和7年2月には、同計画最後の事業である若柳警察署と築館警察署の統合による「栗原警察署」が新設される予定であり、巡り合わせを含めて感慨深いものがあります。

また、当時の係員も今では全員が県警察の最高幹部として活躍していますが、苦勞をともにした係員に改めて感謝するとともに、県警察の将来に繋がる仕事に携わることができたことに感謝しています。

・これから警察官を目指す方にメッセージ

高校時代、部活動（野球部）を辞めようとした時、監督から、「先輩達は野球を続けていて良かった。社会に出て耐えられると言っているぞ。」と諭されたことがありました。

まさにそのとおりだったと実感しています。

警察の仕事は確かに大変なこともあります、乗り越えられない「壁」はないと思いますし、何よりも、「世のため人のため」になる働きがいのある仕事です。皆さんの御活躍を期待しています。頑張ってください。



警察本部前で
総務部長点検!

1993年の警察官採用パンフレット、28歳警部補!

